

教養課程「歯科技工士のコンプライアンスとあるべき姿」

専門課程「総義歯の咬合と義歯の吸着メカニズム」

近年、デジタルソリューション（情報通信技術）を使った最新技術によるデジタル技工も進化する中で、変革期の教育制度と歯科技工士のコンプライアンスについて考察する予定です。

歯科技工もアナログ技法とデジタル技法の融合転換の流れも世界中の歯科領域において同様です。しかしながら、歯科臨床で大切なことは基礎となる臨床術式を十分に考察することが求められています。有床義歯とりわけ総義歯製作を成功に導くための鍵は、義歯床の外形線の設定および人工歯排列が義歯の維持力（吸着力）を増大させ義歯の安定を確保する要因と考えます。Class I、Class II、Class IIIと異なる総義歯製作の臨床的基準について客観的な指標を示し、歯科臨床術式の留意点を考察する予定です。